

令和5年度 施策評価シート

基本目標		「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	130	水と緑を活かした、美しい景観をつくる
施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる
施策の目標	魅力的な水辺空間や緑豊かな公園が、区民や来街者にうるおいとやすらぎをもたらし、にぎわうとともに、まちの至るところに緑が増え、水と緑を親しむまちになっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「墨田区の公園や水辺を日常的に利用している」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	43.8				50					60
実績	43.8				53.8					
指標名	みどり率									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	20.5									20.9
実績					20.8					

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
北十間川西側区間(隅田川から東武橋付近)の一体的整備(親水テラス、区道、隅田公園等)、あずま百樹園再整備などの公園新設再整備、江東内部河川の整備等により、うるおいとやすらぎが実感できる水と緑の空間整備を進めた。	R2	1,028,926
	R3	1,037,207
	R4	1,426,841

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	公園等新設再整備事業、北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業、親水公園再整備事業などにより計画的な公園等の再整備が進み、公園や水辺を日常的に利用する区民の割合も増えている。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
施設の老朽化や利用者ニーズの変化・多様化に対応した、水と緑をいかした魅力的な空間を創出する必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
引き続き、計画的な公園等の再整備を行うとともに、指定管理や民間活力導入など、効果的かつ効率的な公園管理のあり方を検討していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	目的に対する指標	
					年度目標値	直近の評価内容
					年度実績値	評価結果
				評価対象年度		
1	公園マスタープラン策定経費	4,995	16,358	21,353	0	現状維持
					0	令和4年度
2	公園等新設・再整備事業費	326,033	15,704	341,737	48	現状維持
					50.8	令和4年度
3	隅田公園再整備事業(日本庭園～言問通り)	133,199	12,268	145,467	48	現状維持
					50.8	令和4年度
4	親水公園再整備事業	19,635	9,422	29,057	48	現状維持
					50.8	令和4年度
5	江東内部河川整備事業	29,618	8,796	38,414	15	現状維持
					9.4	令和4年度
6	公園及び児童遊園維持管理費	545,820	9,706	555,526	48	改善・見直しのうえ継続
					50.8	令和4年度
7	親水公園維持管理費	131,224	9,678	140,902	48	改善・見直しのうえ継続
					50.8	令和4年度
8	公園施設安全管理事業費	24,567	9,678	34,245	48	現状維持
					50.8	令和4年度
9	街路樹及び緑地帯維持管理費	105,675	8,108	113,783	28.9	現状維持
					28.4	令和4年度
10	公園及び児童遊園維持管理費(警備経費)	34,087	2,454	36,541	10,300	現状維持
					12,129	令和4年度
11	土木施設監察指導事務費	40	6,543	6,583	65	改善・見直しのうえ継続
					116	令和4年度
12	北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業費	10,587	8,179	18,766	21,180	現状維持
					21,180	令和4年度
13	河川施設維持事業費	51,006	7,459	58,465	15	現状維持
					9.4	令和4年度
14	区民広場維持管理費	10,355	9,678	20,033	48	現状維持
					50.8	令和4年度

令和5年度 事務事業評価シート

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	公園マスタープラン策定経費		1
目的	平成7年に30年計画として策定し、平成22年に中間改定した墨田区公園マスタープランについて、社会情勢の変化やニーズの多様化が急速に進んでいることから、これらに対応するため、令和5年度に前倒しで改定する。		主管課・係（担当）
			都市整備課都市整備・河川担当 03-5608-6281
対象者	公園・児童遊園を利用する区民及び来街者 (公園を日常利用する近隣住民(親子、高齢者など)、公園で開催されるイベントに訪れる来街者など)		
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則 墨田区都市計画マスタープラン、第二次墨田区緑の基本計画		
実施基準	区独自基準	実施方法 一部委託	人員体制・委託先 常勤4人、一般財団法人日本緑化センター
事業内容	令和5年度に墨田区公園マスタープランを前倒しで改定するため、令和4年度及び令和5年度に改定支援業務委託、利用者アンケート調査、改定検討委員会等を行う。 [令和4年度] 改定支援業務委託 改定検討委員会の実施 [令和5年度] 改定支援業務委託 改定検討委員会の実施 パブリック・コメントの実施 墨田区公園マスタープランの改定		
経過	開始年度	令和4年度	終了予定
	令和6年度		
経過	[令和4年度] 改定支援業務の委託 改定検討委員会の実施(第1回、令和5年1月) 地域産業都市委員会で「改定の方向性」について報告(令和5年3月)		
議会質問の状況	[令和5年3月] 墨田区公園マスタープランにおけるドッグラン、BBQの位置付けについて アクセス不便地域の解消について ボール遊びができる公園づくりについて こども基本法の施行などを受け、こどもの視点がより重要となることについて		
その他特記事項	特になし		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		0	0	0	0	5,000	7,166
A.決算額(令和5年度は見込み)		0	0	0	0	4,995	7,166
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	0	4,995	7,166
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.9%	100.0%
B.人コスト		/	0	0	0	16,358	/
総事業決算額(A+B)		0	0	0	0	21,353	/
予算書P(令和5年度)	P208 1-12	執行実績報告書P(令和4年度)			P150-12		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
			報酬	学識経験者報酬	56	報酬	学識経験者報酬	224
			委託料	改定支援業務	4,939	報償費	樹木医謝礼	21
						委託料	改定支援業務	6,900
						使用料及び賃借料		21

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	改定検討委員会の実施回数(累計)				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		4	R5	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標		1	3			
		実績		1				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	よりよい改定とすることを目的とし、学識経験者を交えた改定検討委員会を開催するため、改定検討委員会の実施回数を活動指標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	墨田区公園マスタープランの改定数				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
1		R5	目標					
			実績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標		0	1				
	実績		0					
指標の選定理由及び目標値の理由								
公園等の整備・管理に関する今後の羅針盤となる公園マスタープランに基づいた整備や管理を進めることが区民等の生活をより豊かにすることにつながるため、墨田区公園マスタープラン改定数を指標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公園に対するニーズは多様であり、社会生活を営む上で、非常に重要な役割を担っている。 墨田区公園マスタープランは、公園等の将来のあるべき姿を示した計画であり、今後の公園整備・管理を行う際の方向性を示すものであることから、着実に改定作業を進めていく。

課題・問題点
本区は都市部であり、再開発事業等以外で公園等の位置を変えたり、面積を大きく増加させることは容易でないため、量の確保よりも質や機能の特性を生かした、子育てしやすい公園を始めとする誰もが快適に活用できる公園を目指していく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位			
事業名	公園等新設・再整備事業費				2	
目的	公園利用者の多様なニーズに応え、公園利用者が魅力を感じられる公園の新設・再整備を進める。 また、噴水やじゃぶじゃぶ池等の親水施設は、シンボリックな施設であることから、これら施設をリノベーションし、公園の魅力向上及び都市のにぎわいの創出を図る。				主管課・係(担当)	
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661	
対象者	公園・児童遊園を利用する区民及び来街者 (公園を日常利用する近隣住民(親子、高齢者など)、公園で開催されるイベントに訪れる来街者など)					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤10	
事業内容	<p>1 公園等新設・再整備 公園マスタープランにおける公園整備戦略プラン10に基づき整備する。 都市生活に水と緑の潤いを与えるまちの骨格となる新しい公園をつくる。 すみだを代表する風景のある公園をつくる。 気軽に行ける身近な公園を新しくつくる。 災害からまちを守る公園を新しくつくる。 誰でも快適に使える公園をつくる。 子どもを健やかに育てる公園をつくる。 訪れた人の心と体が健康になる公園をつくる。 歴史や文化を伝える公園をつくる。 地域コミュニティを育てる公園をつくる。 区民や事業者のアイデアを具現化できる公園をつくる。</p> <p>2 親水施設リノベーション 公園内の親水施設の老朽度、利用者による満足度、ライフサイクルコスト等を総合的に検証し、リノベーション又は施設の廃止を行う。リノベーションの際は、最新技術を用いた施設の導入により、新機能(ライトアップ、真夏のミスト、防火用水等)の追加やライフサイクルコストの縮減を図る。</p>					
経過	開始年度	平成22年度		終了予定		
	過去3年間の実績	<p>[令和2年度] 整備工事(東向島北公園、竪川親水公園、旧中川水辺公園)、基本設計(あずま百樹園)、実施設計(かしわ児童遊園、隅田川緑道公園)、検討委託(大横川親水公園)、用地取得(東向島北公園)</p> <p>[令和3年度] 整備工事(かしわ児童遊園、旧中川水辺公園)、基本実施設計(なつめ公園)、実施設計(両国第一児童遊園、あずま百樹園)</p> <p>[令和4年度] 整備工事(あずま百樹園(キャンパスコモン)、両国第一児童遊園、旧中川水辺公園、墨田二丁目児童遊園)、基本・実施設計(押上第一児童遊園、横川北児童遊園、銅像堀公園)、実施設計(あずま百樹園)</p>				
議会質問の状況	<p>[令和3年3月] 未就学児が水遊びできる施設整備について</p> <p>[令和4年6月] 公園の機能充実(歴史的特徴の活用、ドッグラン、ボール遊び広場)について</p> <p>[令和4年11月] 錦糸公園の複合遊具の混雑解消について</p> <p>[令和4年決特] インクルーシブ遊具のあり方、利用促進などについて</p> <p>[令和4年予特] 堤通公園のスケボーパークの利用状況や陳情、本格設置について</p>					
その他特記事項	<p>大学誘致に伴う周辺整備事業費(あずま百樹園)を含む。 大横川親水公園及び竪川親水公園の再整備は、令和4年度から「親水公園再整備事業」に移行。</p>					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		90,030	279,500	166,827	113,911	438,720	374,530
A.決算額(令和5年度は見込み)		76,508	274,393	157,703	109,266	326,033	374,530
財源	国						
	都		3,450				
	その他			4,448			
一般財源		76,508	270,943	153,255	109,266	326,033	374,530
執行率(%)		85.0%	98.2%	94.5%	95.9%	74.3%	100.0%
B.人コスト			6,789	7,058	12,314	15,704	
総事業決算額(A+B)		76,508	281,182	164,761	121,580	341,737	
予算書P(令和5年度)	P220 3-1の一部	執行実績報告書P(令和4年度)			P161-1の一部		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	実施設計等	52,058	委託料	実施設計等	31,793	委託料	実施設計等	22,480
工事請負費	公園等整備工事	57,208	使用料及び賃借料	集会所使用料	0	使用料及び賃借料	集会所使用料	30
			工事請負費	公園等整備工事	258,240	工事請負費	公園等整備工事	352,020
			公有財産購入費	土地購入費	36,000			

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	新設・再整備公園数(累計)				単位	園
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		24	R7	目標	3	7	9	13
				実績	3	5	7	13
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	16	18	20	22	23	24
	実績	16	18	20				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	墨田区公園マスタープランによる2025年に向けた目標年次の整備数を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	41.5		44	
				実績	41.5		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46		48		50	50
実績	46.7		50.8					
指標の選定理由及び目標値の理由								
区内公園等の新設や改修工事を行い、魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	今後も継続して、老朽化した公園施設の再整備や改修を行っていく。

課題・問題点
公園マスタープランの公園整備戦略プラン10に基づき、一定の整備を推進してきた。しかしながら、平成29年に改正された都市公園法でPark-PFI制度が創設されるなどの民間活力の導入の視点や多種多様な公園の使われ方、区民ニーズの変化は急速に進んでいることから、令和5年度に前倒しで改定する墨田区公園マスタープランを踏まえた、新たなニーズに応えられる公園整備を着実に進める必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	隅田公園再整備事業費		3
目的	隅田公園の日本庭園から言問通りまでの範囲において、日本庭園の歴史的・文化的価値をいかすとともに、安全・安心に利用できる公園に再整備することで、公園の更なる魅力向上を図る。また、未再整備範囲において、向島方面などの区北部への回遊性強化と隅田公園を核とした地域活性化という観点で再整備を進めていく。		主管課・係(担当)
			都市整備課都市整備・河川担当 03-5608-6281
対象者	公園を利用する区民及び来街者 (公園を日常利用する近隣住民(親子、高齢者など)、公園で開催されるイベントや第1期再整備による新たな賑わいの場に訪れる来街者など)		
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤3
事業内容	隅田公園の日本庭園から言問通りまでの範囲について、ひょうたん池を囲む楕円園路の整備、築山の切下げ、眺望台の整備、桜の列植、見通しを悪くしている樹木の整理、牛嶋神社南側の広場整備等の第2期再整備を行う。 また、再整備に併せて民間活力を導入し(指定管理、施設設置)、更なる賑わいや公園北側への回遊性を創出する。 未再整備範囲について、区北部への回遊性強化と隅田公園を核とした地域活性化という観点で、再整備に向けた検討を進めていく。		
経過	開始年度	令和2年度	終了予定
	令和2年度 第2期再整備基本計画 令和3年度 第2期再整備基本設計、学識経験者を交えた庁内検討会(計5回) 民間活力導入に向けた調査・検討(サウンディング型市場調査) 都市計画事業認可申請・取得 令和4年度 ひょうたん池循環施設等改修工事 第2期再整備実施設計 指定管理者の公募 北十間川・隅田公園観光回遊路事業において実施		
議会質問 の状況	[令和4年3月] 第2期再整備において地域の意見の反映をすること、及び計画的に再整備することについて 言問通り以北における再整備について [令和5年3月] 民間活力導入に向けた公募について 隅田公園の指定管理範囲について		
その他 特記事項	民間活力導入の手法は、第1期・第2期再整備範囲及び隅田公園自動車駐車場を対象とした指定管理者制度と、その事業者によるカフェ等の設置管理許可制度である。		

予算・決算額推移(単位:千円)	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)				10,000	140,915	167,400
A.決算額(令和5年度は見込み)				9,577	133,199	167,400
財源	国					
	都					41,850
	その他					
一般財源	0	0	0	9,577	133,199	125,550
執行率(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	95.8%	94.5%	100.0%
B.人コスト				13,194	12,268	
総事業決算額(A+B)	0	0	0	22,771	145,467	
予算書P(令和5年度)	P220 3-2		執行実績報告書P(令和4年度)		P161-2	

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	学識経験者報償金	260	報償費	学識経験者報償金	439	委託料	監督補助ほか	7,400
委託料	基本設計ほか	9,317	委託料	実施設計ほか	22,968	工事請負費	第二期再整備工事 (前払金)	160,000
			工事請負費	ひょうたん池工事	109,793			

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	第2期再整備範囲面積(累計)				単位	m ²
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		16,500	R7	目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	-	0	2,400	2,400	16,500	16,500
		実績	-	0	2,400			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	第2期再整備を着実に進めていくことが、公園の更なる魅力向上に繋がるため、活動指標としたため。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41.5	-	44	-	
			実績	41.5	-	42.4	-	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目標	46	-	48	-	50	50	
	実績	46.7	-	50.8				
指標の選定理由及び目標値の理由								
魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がるため、成果指標としたため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	予定している整備を着実に進めるとともに、地元町会、関係団体等の協力も得ながら、事業効果を最大限に発揮していく。

課題・問題点
隅田公園を核とした地域活性化と向島方面など区北部への回遊性強化の観点から、言問通り以北の未再整備範囲の再整備について、地域の声を聞きながらしっかりと検討していく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	親水公園再整備事業費		4
目的	親水公園利用者の多様なニーズに応え、利用者が魅力を感じられる親水公園の再整備を進める。 既存の親水施設を生かした改修を行うことで、水と緑に親しみうるおいとやすらぎを実感できる空間を創出する。		主管課・係(担当)
			道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	親水公園を利用する区民及び来街者 (親水公園を日常利用する近隣住民(親子、高齢者など)、親水公園で開催されるイベントに訪れる来街者など)		
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン		
実施基準	区独自基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤6
事業内容	大横川親水公園は、浅草と東京スカイツリーを結ぶ動線に繋がっており、来街者を錦糸町方面へと誘導する重要な施設である。今後、北十間川河川テラスと連続化されれば、来街者の増加も見込まれるため、老朽化した施設をリノベーションし、公園の魅力及び回遊性の向上に資するよう再整備する。 また、大横川親水公園と堅川親水公園の未整備区域を整備し、水と緑に親しみ、うるおいと安らぎのある親水空間のネットワーク化を図る。		
経過	開始年度	令和4年度	終了予定
	[令和4年度] 大横川親水公園未整備区域及びびさざんか児童遊園再整備実施設計、大横川親水公園浄化設備外の実施設計 大横川親水公園再整備に係る民間活力導入に関するサウンディング型市場調査		
議会質問 の状況	[平成30年決特] 水の流れが滞っているなど公園の課題解決に向けた計画的な大規模修繕について [令和元年11月] 北十間川付近も含めた大横川親水公園と周辺整備のあり方について [令和元年予特] 大横川親水公園未整備区域(撞木橋跡南側)の跡地活用について [令和3年予特] 子どもたちが水に親しめる親水施設の整備について [令和4年11月] 大横川親水公園長崎橋跡から江東橋の間の遊具の設置について		
その他 特記事項	特になし		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)						20,860	89,200
A.決算額(令和5年度は見込み)						19,635	89,200
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	0	0	0	19,635	89,200
執行率(%)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	94.1%	100.0%
B.人コスト						9,422	
総事業決算額(A+B)		0	0	0	0	29,057	
予算書P(令和5年度)	P220 3-1の一部	執行実績報告書P(令和4年度)			P161-1の一部		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
			委託料	実施設計等	19,635	工事請負費	整備工事等	89,200

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	親水公園の再整備箇所数(累計)				単位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		5	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標			0	0	2	5
	実績			0				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	水と緑に親しみうるおいとやすらぎを実感できる空間として整備する、本事業における親水公園の再整備箇所を指標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	41.5		44	
				実績	41.5		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46		48		50	50
実績	46.7		50.8					
指標の選定理由及び目標値の理由								
親水公園の再整備を行い、魅力的な公園づくりを進めることが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	水と緑に親しみうるおいとやすらぎを実感できる親水公園の再整備を行っていく。

課題・問題点
公園マスタープランの公園整備戦略プラン10に基づき、一定の整備を推進してきた。しかしながら、平成29年に改正された都市公園法でPark-PFI制度が創設されるなどの民間活力の導入の視点や多種多様な公園の使われ方、区民ニーズの変化は急速に進んでいることから、令和5年度に前倒して改定する墨田区公園マスタープランを踏まえた、新たなニーズに応えられる公園整備を着実に進める必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	江東内部河川整備事業費				5
目的	区内の水辺を十分に活用し、都市生活にうるおいとやすらぎを与える水と緑の骨格軸を整備する。				主管課・係(担当)
					都市整備課都市整備・河川担当 03-5608-6294
対象者	区民及び来街者				
根拠法令 関連計画	河川法令、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例・同施行規則 江東内部河川整備計画(東京都)				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3
事業内容	1 調整業務 東京都施行の耐震護岸整備及び低水路護岸整備に関する連絡調整及び設計・施工協議 2 遊歩道整備工事 東京都施行の耐震護岸整備及び低水路護岸整備後に遊歩道を整備し、水と緑に親しめる空間を創出する。				
経過	開始年度	平成24年度		終了予定	令和7年度
	過去3年間の実績 [令和2年度] 横十間川修景施設整備実施設計委託(天神橋～神明橋) [令和3年度] 横十間川修景施設整備工事(その1)(天神橋～神明橋) [令和4年度] 横十間川修景施設整備工事(その2)(天神橋～神明橋) 西十間橋下護岸連続化整備修正設計委託(北十間川)				
議会質問の状況	[令和元年9月] 新保健施設等複合施設建設計画を反映した河川整備(スロープ整備)について 船着場の整備(門扉、鍵)について 河川の水質改善及び東京都との協力について				
その他特記事項	横十間川修景施設整備工事(R3～5年度)箇所に隣接して、新保健施設等複合施設が建設中				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		85,375	0	5,000	13,000	30,430	181,000
A.決算額(令和5年度は見込み)		29,500	0	4,972	6,212	29,618	181,000
財源	国						
	都	21,735					149,000
	その他						
一般財源		7,765	0	4,972	6,212	29,618	32,000
執行率(%)		34.6%	#DIV/0!	99.4%	47.8%	97.3%	100.0%
B.人コスト			0	8,796	8,796	8,796	
総事業決算額(A+B)		29,500	0	13,768	15,008	38,414	
予算書P(令和5年度)	P 216 2-2	執行実績報告書P(令和4年度)			P157-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
工事請負費	修景施設整備	6,212	委託料	護岸連続化委託	5,632	工事請負費	護岸連続化工事	149,000
			工事請負費	修景施設整備	23,986		修景施設整備	32,000

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	遊歩道開放区間(両岸累計)(北十間川樋門から西側を除く)				単位	m
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)		H29	H30	R1
		6,559	R7	目標	1,764	2,694	3,374	3,899
				実績	1,764	2,694	3,374	3,899
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,209	4,519	5,179	5,539	6,019	6,559
	実績	3,899	3,899	4,479				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	護岸上の遊歩道を開放することで、親水空間の利用状況を把握することが可能である。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「自然環境が良い」と感じる区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)		H29	H30	R1
		20.0	R7	目標				
			実績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		10.0		15.0			20.0	
実績	11.1		9.4					
指標の選定理由及び目標値の理由								
水と緑の骨格軸となる河川護岸整備の進捗が進むにつれ、自然環境が良いと感じる区民の割合が増加すると考え目標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	自然環境が良いと感じる区民の割合が約1割であることから、区民がうるおいとやすらぎを感じられるよう、今後も継続して修景整備をしていく必要がある。

課題・問題点
東京都の護岸整備進捗状況が遅れることにより、その後の区の遊歩道整備及び開放も遅れることから、常に東京都の事業進捗状況を把握するとともに、連絡も密に行っていく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	公園及び児童遊園維持管理費				6
目的	誰もが安全・安心に利用でき、水と緑のうるおいややすらぎが実感できる公園・児童遊園を維持管理する。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	公園・児童遊園を利用する区民及び来街者 (公園を日常利用する近隣住民(親子、高齢者など)、公園で開催されるイベントに訪れる来街者など)				
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4、会計年度任用職員1
事業内容	区内にある141か所の公園・児童遊園において、清掃、除草・草刈、樹木剪定、施設の点検・補修等を適宜実施する。				
経過	開始年度				終了予定
	立花一丁目・二丁目の公園・児童遊園、おしなり公園、錦糸公園においては、清掃及び植栽管理を一括して委託している。 堤通公園においては、遊具貸出の委託に清掃と植栽管理を包括している。 区内の60か所の公園等は、町会との公園愛護協定を締結し、区民による公園清掃等が行われている。				
議会質問 の状況	[令和4年9月] 公園管理に指定管理者制度を導入した際の、区内中小企業の受注機会確保について [令和4年決特] 錦糸公園等人気のある遊具の混雑緩和対策(公園遊具の分散配置や、ホームページでの公園施設の情報提供)について [令和4年決特] 公園愛護団体の支援について				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		491,651	488,089	540,554	576,834	615,275	667,540
A.決算額(令和5年度は見込み)		471,658	472,953	521,011	547,755	545,820	667,540
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		471,658	472,953	521,011	547,755	545,820	667,540
執行率(%)		95.9%	96.9%	96.4%	95.0%	88.7%	100.0%
B.人コスト			11,316	12,351	12,314	9,706	
総事業決算額(A+B)		471,658	484,269	533,362	560,069	555,526	
予算書P(令和5年度)	P217 1-1(1)(2)の一部(3)(5)(7)	執行実績報告書P(令和4年度)			P158-1(1)(2)(3)(5)(7)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		37,583	需用費		41,920	需用費		52,001
	(光熱水費)	32,170		(光熱水費)	36,271		(光熱水費)	46,618
	(一般需用費)	5,413		(一般需用費)	5,649		(一般需用費)	5,383
役務費	清掃、ゴミ収集外	383,830	役務費	清掃、ゴミ収集外	371,024	役務費	清掃、ゴミ収集外	482,310
委託料	保守点検、廃棄物処分外	46,742	委託料	保守点検、廃棄物処分外	46,398	委託料	保守点検、廃棄物処分外	50,663
使用料及び賃借料	借上げ・リース等	12,992	使用料及び賃借料	借上げ・リース等	21,986	使用料及び賃借料	借上げ・リース等	23,886
工事請負費	維持補修	61,612	工事請負費	維持補修	59,621	工事請負費	維持補修	53,269
原材料費		4,590	原材料費		4,458	原材料費		5,062
備品購入費		410	備品購入費		413	備品購入費		349

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	区立公園・児童遊園の清掃回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		104	R7	目標	104	104	104	104
				実績	90	90	90	90
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	104	104	104	104	104	104
	実績	90	90	90				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託や愛護活動等により週2回清掃することを目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41.5		44		
			実績	41.5		42.4		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		46		48		50	50	
実績	46.7		50.8					
指標の選定理由及び目標値の理由								
公園・児童遊園の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	公園は都市での貴重な遊び場や憩いの場であることから継続した維持管理が必要である。 利用者ニーズの多様化により、これまでどおりの維持管理では良好な維持管理が難しくなっており、民間活力の導入や包括管理による業務の効率化など、管理方法の見直し・改善が必要である。

課題・問題点
利用者ニーズが多様化する中で、限られた維持管理予算や人員で公園利用者の満足度を高めていくためには、これまでも増して愛護団体やボランティア団体との連携や民間活力の導入などが必要になってくる。 芝生の管理については、多くの維持管理コストがかかるほか、養生期間中は芝生の利用ができないため、養生範囲等の工夫が必要である。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事業名	親水公園維持管理費					7
目的	だれもが安全・安心に利用でき、水と緑のうるおいやすらぎが実感できる親水公園を維持管理する。					主管課・係(担当)
						道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	親水公園を利用する区民及び来街者 (親水公園を日常利用する近隣住民(親子、高齢者など)、親水公園で開催されるイベントに訪れる来街者など)					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4、会計年度任用職員1	
事業内容	大横川親水公園及び豎川親水公園において、清掃、除草・草刈、樹木剪定、施設の点検・補修等を適宜実施する。					
経過	開始年度	平成5年度			終了予定	
	<p>大横川親水公園 [昭和56年度] 整備工事開始 [昭和58年度] 工事が完了した区間を先行開放(区間:北十間川～平川橋) その後、工事完了区間から順次部分開放 [平成5年度] 開園(区間:北十間川～撞木橋跡) (未整備区間:撞木橋跡～豎川間)</p> <p>豎川親水公園 [昭和63年度] 整備工事開始 [平成5年度] 開園(区間:牡丹橋～松本橋) [平成6年度] 開放(区間:新辻橋～牡丹橋) (未整備区間:新辻橋～大横川合流点、四之橋付近)</p>					
議会質問 の状況	[平成30年3定] 大横川親水公園の照明が暗いことについて					
その他 特記事項	「豎川親水公園の維持管理に関する協定書」に基づく費用負担:墨田区(48/100)、江東区(52/100)					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		140,707	150,606	157,997	163,301	148,451	220,467
A.決算額(令和5年度は見込み)		123,436	134,463	138,185	148,336	131,224	220,467
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		123,436	134,463	138,185	148,336	131,224	220,467
執行率(%)		87.7%	89.3%	87.5%	90.8%	88.4%	100.0%
B.人コスト			11,316	12,351	12,314	9,678	
総事業決算額(A+B)		123,436	145,779	150,536	160,650	140,902	
予算書P(令和5年度)	P217 1-2	執行実績報告書P(令和4年度)			P158-2		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		10,703	需用費		11,135	需用費		16,806
	(光熱水費)	9,264		(光熱水費)	9,710		(光熱水費)	15,344
	(一般需用費)	1,439		(一般需用費)	1,425		(一般需用費)	1,462
役務費	清掃、草刈外	78,556	役務費	清掃、草刈外	73,645	役務費	清掃、草刈外	110,525
委託料	管理業務、保守点検外	22,312	委託料	管理業務、保守点検外	22,537	委託料	管理業務、保守点検外	25,551
工事請負費	維持補修	35,969	工事請負費	維持補修	23,120	工事請負費	維持補修	66,785
原材料費		798	原材料費		787	原材料費		800

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	親水公園の平均清掃回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		117	R7	目標	117	117	117	117
				実績	105	109	109	110
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	117	117	117	117	117	117
	実績	110	110	110				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託や愛護活動等により週2回の清掃と落ち葉シーズンの清掃を合わせた清掃回数を目標値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41.5		44		
			実績	41.5		42.4		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		46		48		50	50	
実績	46.7		50.8					
指標の選定理由及び目標値の理由								
親水公園の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	<p>親水公園は、施設の老朽化が進んでいるが、区立公園の中でも親水公園は、特に水と緑に触れ合える特色を持った公園であり、利用者が満足するような維持管理を継続する必要がある。</p> <p>利用者ニーズの多様化により、これまでどおりの維持管理では良好な維持管理が難しくなっており、民間活力の導入や包括管理による業務の効率化など、管理方法の見直し・改善が必要である。</p>

課題・問題点
<p>利用者ニーズが多様化する中で、限られた維持管理予算や人員で公園利用者の満足度を高めていくためには、これまでも増して愛護団体やボランティア団体との連携や民間活力の導入などが必要になってくる。</p>

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる				部内優先順位
事業名	公園施設安全管理事業費				8	
目的	公園利用者が、安全で安心して遊具で遊べるよう維持管理する。				主管課・係(担当)	
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661	
対象者	公園等を利用する区民及び来街者					
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4、会計年度任用職員1	
事業内容	公園遊具を安全・快適に利用できるよう、年に1回専門業者による安全基準の適合判断、老朽化による損傷度調査、遊具間の安全領域調査を行い、あわせて職員による日常点検により危険箇所の早期発見に努め、遊具の健全性と安全性を確保する。 令和元年度の遊具点検時に修繕等が必要と判定された232基を、令和7年度までに改修する。					
経過	開始年度	平成20年度		終了予定		
	過去3年間の実績 [令和2年度] [令和3年度] [令和4年度]	遊具改修数 4件 遊具改修数 48件 遊具改修数 31件				
議会質問 の状況	特になし					
その他 特記事項	専門業者による遊具定期点検により発見された変状及び異常については、直ちに使用禁止し、遊具の補修・改修を実施する。					

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		13,200	4,900	15,303	22,260	26,760	15,830
A.決算額(令和5年度は見込み)		13,078	4,626	14,671	21,900	24,567	15,830
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		13,078	4,626	14,671	21,900	24,567	15,830
執行率(%)		99.1%	94.4%	95.9%	98.4%	91.8%	100.0%
B.人コスト			11,316	12,351	12,314	9,678	
総事業決算額(A+B)		13,078	15,942	27,022	34,214	34,245	
予算書P(令和5年度)	P218 1-5	執行実績報告書P(令和4年度)			P159-6		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	遊具点検	2,079	委託料	遊具点検	2,090	委託料	遊具点検	2,373
工事請負費	改修工事	19,821	工事請負費	改修工事	22,477	工事請負費	改修工事	13,457

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	専門家による点検回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1	R7	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1	1	1	1	1	1
	実績	1	1	1				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	遊具の定期的な点検は、遊具に起因する事故を未然に防ぎ、安全に遊べる公園環境の維持に繋がるので目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	41.5		44	
				実績	41.5		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46		48		50	50
実績	46.7		50.8					
指標の選定理由及び目標値の理由								
安全点検及び点検後の補修・改修により利用者が安全に遊具で遊べる公園環境を維持していることで、区民満足度が向上する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公園利用者の安全に関わる重要な事業であることから、毎年、継続して実施する必要がある。

課題・問題点
区内公園等にある遊具の総数は580基(令和5年3月31日現在)であることから、遊具の定期点検を踏まえ、適切に維持管理をしていく必要がある。 また、最新の安全基準に適合していない遊具や耐用年数を超えている遊具について、遊具の更新を図っていく必要がある。

施 策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事 業 名	街路樹及び緑地帯維持管理費		9
目 的	通行者が安全・快適に通行でき、緑のうるおいとやすらぎを感じられる道路空間を確保するため、道路等の街路樹及び緑地帯を適正に維持管理する。		主管課・係（担当）
			道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対 象 者	区道を通行する車両・歩行者（区民及び来街者）		
根 拠 法 令 関 連 計 画	道路法令、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則		
実 施 基 準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤3、会計年度任用職員1
事 業 内 容	街路樹剪定及び緑地帯の手入れ、除草・清掃、害虫駆除等を適宜、適切に実施する。		
経 過	開始年度	昭和28年度	終了予定
	過去3年間の実績 街路樹剪定本数（実績/目標） [令和2年度] 3,663/3,600本 [令和3年度] 3,609/3,600本 [令和4年度] 4,354/3,600本		
議 会 質 問 の 状 況	[平成29年決特] 視界を妨げている私的植栽の認識について [令和元年11月] 街路樹の台風対策について 街路樹整備の中長期的な方針や計画推進について [令和4年決特] プラタナス等の大木化した樹木の更新について		
そ の 他 特 記 事 項	特になし		

予算・決算額推移（単位：千円）		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額（事業費）		99,812	102,108	106,734	106,684	109,791	111,623
A.決算額（令和5年度は見込み）		99,299	101,294	106,508	105,678	105,675	111,623
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		99,299	101,294	106,508	105,678	105,675	111,623
執行率（％）		99.5%	99.2%	99.8%	99.1%	96.3%	100.0%
B.人コスト			4,526	4,411	5,277	8,108	
総事業決算額（A+B）		99,299	105,820	110,919	110,955	113,783	
予算書P（令和5年度）	P211 3-1	執行実績報告書P（令和4年度）			P152-1		

令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		901	需用費		793	需用費		957
	(光熱水費)	533		(光熱水費)	426		(光熱水費)	648
	(一般需用費)	368		(一般需用費)	367		(一般需用費)	309
役務費	剪定、清掃外	102,624	役務費	剪定、清掃外	103,844	役務費	剪定、清掃外	107,703
委託料	害虫駆除、花壇管理等	1,786	委託料	害虫駆除、花壇管理等	671	委託料	害虫駆除、花壇管理等	2,576
原材料費		368	原材料費		367	原材料費		387

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	街路樹剪定延べ本数				単位	本
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		3,600	R7	目標	3,600	3,600	3,600	3,600
				実績	3,666	3,383	2,909	3,265
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		実績	3,663	3,609	4,354			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	定期的な剪定や植替え等の維持管理を実施しているため、年間の街路樹剪定本数を目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「緑の豊かさ」を感じる区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		30	R7	目標	25.6		26.7	
				実績	25.6		23.5	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	27.8		28.9		30	30
	実績	27.2		28.4				
指標の選定理由及び目標値の理由								
街路樹や緑地帯整備だけでなく、剪定等の良好な維持管理を行うことが、緑の豊かさを感じる区民割合を高めることに繋がる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	街路樹の本数及び緑地帯の面積の大幅な増減はない。 老木、大木化した樹木の更新を進めるとともに、維持管理を行っていく。

課題・問題点
<p>ブラタナス等、樹勢が強く夏季・冬季の年2回剪定が必要となる樹種については、剪定の頻度が少ない樹種への変更を進めているが、依然として年2回剪定の樹種が多数あるため、引き続き変更を進めていく必要がある。</p> <p>ハナモモ等花が咲き、実のなる樹種は、落ちた実で汚れた道路面の清掃が生じるため、適時・適切な維持管理が必要となる。</p> <p>街路樹の更新や維持管理に関する計画を作成し、より適切な街路樹の管理を行う必要がある。</p>

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	公園及び児童遊園維持管理費(警備経費)				10
目的	都市公園法や墨田区立公園条例等に基づき、路上生活者に対して注意・指導を実施し自立支援への案内を行う。公園及び児童遊園が適正に維持されている。				主管課・係(担当)
					土木管理課占用・監察担当 03-5608-6282
対象者	公園及び児童遊園を利用する区民及び来街者				
根拠法令 関連計画	都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則				
実施基準	法令基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先:サンエス警備保障株式会社
事業内容	路上生活者への注意、指導及び自立支援への誘導に重点をおいた公園警備委託事業を実施する。				
経過	開始年度	平成17年度		終了予定	なし
	平成31年4月から、豎川第一公園で東京都と23区の共同事業である「ホームレス地域生活以降支援事業」が実施されている。 また、路上生活者への注意・指導及び自立支援のための相談窓口等の案内に重点をおいた公園警備委託事業を実施している。(平成18年度から、暫定的に土木管理課で事業を実施)				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		32,135	32,543	35,002	34,310	34,273	34,391
A.決算額(令和5年度は見込み)		31,856	32,379	34,087	34,124	34,087	34,391
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		31,856	32,379	34,087	34,124	34,087	34,391
執行率(%)		99.1%	99.5%	97.4%	99.5%	99.5%	100.0%
B.人コスト			2,626	2,647	2,639	2,454	
総事業決算額(A+B)		31,856	35,005	36,734	36,763	36,541	
予算書P(令和5年度)	P217 1-1-(6)	執行実績報告書P(令和4年度)			P158-1(6)		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	公園警備委託	34,124	委託料	公園警備委託	34,087	委託料	公園警備委託	34,391

事業の 成 果	手段に 対する指標 (活動指標)	指 標	パトロール回数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		365	R7	目標	365	365	365	366
				実績	365	365	365	366
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	365	365	365	366	365	365
	実績	365	365	365				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	公園及び児童遊園の維持管理のために実施しているパトロールの回数を指標とした。 平日は閉庁時間である16時間の警備、土日祝日は24時間警備を実施しているため、目標値を年間の日数(365回又は366回)とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指 標	不正行為等注意件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		8,700	R7	目標	15,000	14,200	13,420	12,640
				実績	14,971	8,775	9,342	8,006
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		11,860	11,080	10,300	9,520	9,000	8,700	
実績	9,212	9,803	12,129					
指標の選定理由及び目標値の理由								
公園及び児童遊園における不正行為等があった際、公園の適正利用を目的とした注意を行っているため、これを指標とした。なお、目標値は過去の実績数を基に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	区民等から寄せられる陳情について、適切かつスピード感をもって対応する。 また、公園内での不正行為等の防止のため適切な指導を行い、誰もが安心して楽しめる公園施設の維持に努める。

課題・問題点
区民等から、安全かつ快適な公園が求められていることから、今後も費用対効果を勘案しながら、公園警備を維持していく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	土木施設監察指導事務費				11
目的	本事業により、区が管理する道路等の土木施設における不正使用が是正され、適正な利用ができています。				主管課・係(担当)
					土木管理課占用・監察担当 03-5608-6282
対象者	区で管理する土木施設を利用する一般区民及び企業者				
根拠法令 関連計画	道路法令、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則、車両制限令、河川法令、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例、都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、東京都屋外広告物条例・同施行規則、墨田区土木施設監察事務処理要綱				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1
事業内容	区が管理する土木施設を適正に管理するため、定期的なパトロールと陳情等に対応した巡回を行い、是正指導をしている。				
経過	開始年度	昭和50年度		終了予定	なし
	監察件数 [令和2年度] 230件 [令和3年度] 243件 [令和4年度] 258件 不定住者対応件数 [令和2年度] 24件 [令和3年度] 26件 [令和4年度] 30件				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		154	50	50	45	46	42
A.決算額(令和5年度は見込み)		116	41	41	40	40	42
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		116	41	41	40	40	42
執行率(%)		75.3%	82.0%	82.0%	88.9%	87.0%	100.0%
B.人コスト			11,359	7,058	7,037	6,543	
総事業決算額(A+B)		116	11,400	7,099	7,077	6,583	
予算書P(令和5年度)	P208 1-7	執行実績報告書P(令和4年度)			P149-7		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品	12	需用費	消耗品	12	需用費	消耗品	14
使用料及び賃借料	携帯電話の借上	28	使用料及び賃借料	携帯電話の借上	28	使用料及び賃借料	携帯電話の借上	28

事業の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	監察指導件数(定期パトロール及び陳情)				単 位	件
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)		H29	H30	R 1
		140	R7	目 標	210	200	190	185
				実 績	201	213	237	225
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	175	165	160	155	150	140
	実 績	206	217	228				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区が管理する道路等の土木施設が適正に利用されるために、監察指導している件数を指標とした。目標値は過去の数値を基に設定した。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	継続是正指導中の案件				単 位	件
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)		H29	H30	R 1
		60	R7	目 標	80	75	70	70
				実 績	79	107	98	119
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	68	68	65	65	63	60
実 績	127	85	116					
指標の選定理由及び目標値の理由								
区が管理する土木施設の不正使用を是正するために本目標値を設定した。目標値は過去の数値を基に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	土木施設を適正に管理するため、定期的なパトロールや、陳情等に対応した監察指導を実施しているが、継続是正指導中の案件が増加傾向にある。是正指導を適正に継続しつつ、区民等からの陳情に対しては、素早い対応が必要不可欠であるため、所轄警察署並びに国道及び都道管理者と協力して迅速な対応を続けていく。

課題・問題点
昨今、土木施設における不法占用や不法行為が多様化しているとともに、区民から不法占用等に関する是正の要望も高まっていることから、所轄警察や東京都等と連携したパトロール・指導を強化する必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる	部内優先順位
事業名	北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業費		12
目的	北十間川西側区間(隅田川から東武橋付近)の水辺の整備(親水テラス及び船着場)やコミュニティ道路整備、隅田公園再整備及び小梅橋の架替えを実施することで、河川、道路、公園及び鉄道高架下の一体活用によるにぎわい創出と回遊性の向上を図る。		主管課・係(担当)
			都市整備課 都市整備・河川担当 03-5608-6294
対象者	区民及び来街者		
根拠法令 関連計画	道路法令、道路構造令、墨田区道における道路構造の技術的基準等に関する条例・同施行規則、墨田区道における移動等円滑化の基準に関する条例、東京都福祉のまちづくり条例、河川法令、特別区における東京都の事務処理に関する条例・同施行規則、都市公園法令、墨田区立公園条例・同施行規則、墨田区公園マスタープラン 江東内部河川整備計画(東京都)		
実施基準	法令基準	実施方法	直営 人員体制・委託先 常勤1
事業内容	東京都の耐震護岸整備や東武鉄道(株)の高架下活用に合わせて、北十間川西側区間の親水テラス整備、小梅橋船着場整備、コミュニティ道路整備、隅田公園再整備及び小梅橋の架替えを行った。 また、北十間川樋門耐震化に合わせ、上部の開放及び動線の連続化を行い、回遊性の向上等を図る。		
経過	開始年度	平成26年度	終了予定 -
	過去3年間の実績 [令和2年度] 協議会の開催、墨22号路線(東側)・親水テラス(東側)・小梅橋船着場整備の完了、隅田公園(日本庭園から言問通り周辺まで)再整備基本計画の策定、小梅橋家屋調査の完了 [令和3年度] 協議会の開催、北十間川親水テラス修景整備工事(その3)着手 [令和4年度] 協議会の開催、北十間川親水テラス修景整備工事(その3)完了		
議会質問の状況	[平成30年3定] (陳情:不採択)隅田公園の樹木伐採について [令和2年9月、決特] 隅田公園再整備(日本庭園の北側)について [令和2年3月、6月、9月、決特] 三ツ目通りと区道墨22号路線の交差点での横断歩道設置について [令和4年9月] 隅田公園の指定管理者制度導入について		
その他特記事項	東京都の北十間川樋門耐震化工事等が遅れていることから、区が実施予定のテラス修景整備工事(樋門部)も遅れる見込みである。		

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		373,266	1,011,758	181,462	19,237	10,664	5,274
A.決算額(令和5年度は見込み)		350,376	897,750	173,998	13,098	10,587	5,274
財源	国			15,361			
	都			11,000			
	その他						
一般財源		350,376	897,750	147,637	13,098	10,587	5,274
執行率(%)		93.9%	88.7%	95.9%	68.1%	99.3%	100.0%
B.人コスト			21,988	21,988	8,796	8,179	
総事業決算額(A+B)		350,376	919,738	195,986	21,894	18,766	
予算書P(令和5年度)	P216 2-1	執行実績報告書P(令和4年度)			P157-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	学識経験者報奨金	75	報償費	学識経験者報奨金	50	報償費	学識経験者報奨金	110
需用費	協議会資料用消耗品	50	需用費	協議会資料用消耗品	40	需用費	協議会資料用消耗品	50
委託料	交通量調査	0	委託料	北十間川水辺活用協議会運営等支援委託	1,500	委託料	北十間川水辺活用協議会運営等支援委託	1,100
委託料	北十間川水辺活用協議会運営等支援	1,400	工事請負費	北十間川テラス修景整備工事	8,997	使用料及び賃借料	協議会会場使用料	14
工事請負費	北十間川テラス修景整備工事	5,400				工事請負費	北十間川テラス修景整備工事	4,000
補償補填及び賠償金	小梅橋架替工事に伴う家屋補償	6,173						

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	北十間川水辺活用協議会(地元協議会)の開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		4	R5	目標	4	4	4	4
				実績	4	5	11	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4	4	4	4		
	実績	4	4	3				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	北十間川周辺の一体整備に向けて、平成27年度から関係機関や地元町会・商店会が参加する地元勉強会をスタートさせ、その後に発展形として「北十間川水辺活用協議会」を設立し、水辺の整備や活用について協議を行ってきた。整備が完了するまでの間、協議会を継続するため、その開催回数を活動指標とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	北十間川テラス・区道・隅田公園の整備面積(累計)				単位	m ²
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
21,640		R5	目標	0	0	0	17,570	
			実績					
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		20,630	20,630	21,180	21,870	21,870	21,870	
実績	20,630	20,630	21,180					
指標の選定理由及び目標値の理由								
北十間川親水テラス(枕橋～源森橋:(右岸)930m ² 、(左岸)460m ² 、源森橋～小梅橋:(右岸)1,100m ² 、(左岸)550m ²)、区道墨22号路線(墨堤通り～三ツ目通り:1,410m ² 、三ツ目通り～言問橋:1,920m ²)、隅田公園(南側の一部:15,000m ²)、船着場(40m ²)、小梅橋(230m ²)、吾妻橋二丁目河川敷地(230m ²)の整備を行うため、成果指標とした。令和5年度までに、合計21,870m ² の整備を完了させる。また、その後は樋門上部整備を実施する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	予定している整備を着実に進めるとともに、関係機関や地元町会・商店会の協力も得ながら、事業効果を最大限に発揮していく。

課題・問題点
三ツ目通り横断歩道設置に向けた交通管理者との協議が難航している。 北十間川周辺の整備が徐々に完成していく状況で今後、協議会がどのような役割を持ってどのような協議をしていくのか、今後のあり方を検討する必要がある。 先行する都の北十間川樋門耐震化工事等が予定より遅れているため、区工事の完了も遅れることが予想される。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	河川施設維持事業費				13
目的	「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づき、河川管理の一部を区で行うこととなっており、区内内部河川の護岸等、河川管理施設の適正な維持管理を行う。				主管課・係(担当)
					都市整備課都市整備・河川担当 03-5608-6294
対象者	区民及び来街者				
根拠法令 関連計画	河川法令、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例・同施行規則 江東内部河川整備計画(東京都)				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤6
事業内容	<p>「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づく法定受託事務として河川管理の一部(草刈りや清掃等の日常の維持管理、年1回の護岸点検、地震時における護岸点検など)を区で行っている。(対象河川:北十間川、横十間川、旧中川、大横川、竪川、旧綾瀬川)</p> <p>旧中川は、旧中川水辺公園として管理 北十間川の一部は、おしなり公園として管理</p>				
経過	開始年度				終了予定
	<p>旧河川法時代から機関委任事務として河川の維持管理を行っている。 地方自治法改正により、「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」に基づく法定受託事務として引き続き河川管理の一部を区で行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川清掃 ・樹木剪定、草刈 ・害虫駆除 ・河川施設点検委託、地震時護岸点検委託 ・補修工事 				
議会質問の状況	特になし				
その他特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		33,583	26,796	30,838	35,096	57,490	42,693
A.決算額(令和5年度は見込み)		32,003	22,728	28,497	32,931	51,006	42,693
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		32,003	22,728	28,497	32,931	51,006	42,693
執行率(%)		95.3%	84.8%	92.4%	93.8%	88.7%	100.0%
B.人コスト		9,056	11,316	13,283	18,471	7,459	
総事業決算額(A+B)		41,059	34,044	41,780	51,402	58,465	
予算書P(令和5年度)	P 216 1-1	執行実績報告書P(令和4年度)			P157-1		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	(光熱水費)	962	需用費	(光熱水費)	1,260	需用費	(光熱水費)	1,449
	(一般需用費)	288		(一般需用費)	242		(一般需用費)	290
役務費	清掃、草刈等	18,433	役務費	清掃、草刈等	18,057	役務費	清掃、草刈等	32,445
委託料	護岸点検等	4,840	委託料	護岸点検等	4,873	委託料	護岸点検等	5,569
工事請負費	護岸補修等	8,270	工事請負費	護岸補修等	26,435	工事請負費	護岸補修等	2,800
原材料費	塗料、補修材等	140	原材料費	塗料、補修材等	139	原材料費	塗料、補修材等	140

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	河川護岸の草刈回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		3	R7	目標	3	3	3	3
				実績	3.5	3.5	3.5	3.5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	3.5	3.5	3.3			
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	草刈の効果は視覚的にもわかりやすいので、年間3回草刈を行うことを目標値とした。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「自然環境が良い」と感じる区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		20.0	R7	目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標			15.0			20.0
	実績		9.4					
指標の選定理由及び目標値の理由								
適切な河川護岸の維持管理を通じて、自然環境が良いと感じる区民の割合が増加すると考え目標とした。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	東京都の耐震護岸整備工事や低水路護岸工事により今後も新規にテラスや護岸通路が整備されるので、テラスや護岸の施設点検や維持補修を継続的に実施して、適正な維持管理を行っていく。

課題・問題点
新たに北十間川左岸（源森橋～小梅橋）や横十間川右岸（天神橋～神明橋）に遊歩道が整備されたことから、施設の維持補修や草刈等、適切に維持管理していく必要がある。

施策	132	水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる空間をつくる			部内優先順位
事業名	区民広場維持管理費				14
目的	誰もが安全・安心に利用でき、水と緑のうるおいやすらぎが実感できる区民広場を維持管理する。				主管課・係(担当)
					道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民広場を利用する区民及び来街者 (区民広場を日常利用する近隣住民(親子、高齢者など))				
根拠法令 関連計画	区民広場の設置及び管理に関する要綱、墨田区公園マスタープラン				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤4、会計年度任用職員1
事業内容	区民広場を安全で快適に利用できる環境としていくため、清掃・除草・樹木剪定・害虫駆除・施設改修を適宜実施する。 区民広場 26か所 8,313.91㎡				
経過	開始年度	昭和56年度		終了予定	
	近年の開設状況 [平成30年4月] ひいらぎ広場 492.14㎡ 長浦いきいき広場 437.65㎡ [令和2年4月] いちご広場 264.09㎡ 曳舟やすらぎ広場 326.34㎡ [令和4年4月] 向島一丁目広場 184.80㎡				
議会質問 の状況	特になし				
その他 特記事項	特になし				

予算・決算額推移(単位:千円)		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算現額(事業費)		7,882	7,555	7,888	9,101	14,734	12,599
A.決算額(令和5年度は見込み)		6,882	7,070	7,193	8,290	10,355	12,599
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		6,882	7,070	7,193	8,290	10,355	12,599
執行率(%)		87.3%	93.6%	91.2%	91.1%	70.3%	100.0%
B.人コスト			11,316	12,351	12,314	9,678	
総事業決算額(A+B)		6,882	18,386	19,544	20,604	20,033	
予算書P(令和5年度)	P218 1-3	執行実績報告書P(令和4年度)			P158-3		

予算・決算の内訳（単位：千円）								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費		943	需用費		1,096	需用費		1,222
	(光熱水費)	711		(光熱水費)	864		(光熱水費)	990
	(一般需用費)	232		(一般需用費)	232		(一般需用費)	232
役務費	清掃・草刈等	4,040	役務費	清掃・草刈等	3,878	役務費	清掃・草刈等	6,637
委託料	汚泥処理等	88	委託料	汚泥処理等	1,291	委託料	汚泥処理等	1,460
使用料及び賃借料		625	使用料及び賃借料		625	使用料及び賃借料		625
工事請負費	維持補修	2,366	工事請負費	維持補修	3,234	工事請負費	維持補修	2,400
原材料費		231	原材料費		231	原材料費		255

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	区民広場の清掃回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		78	R7	目標	78	78	78	78
				実績	66	66	57	57
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	78	78	78	78	78	78
	実績	57	57	69				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	清掃の効果は視覚的にもわかりやすいので、委託や愛護活動等により平均週1.5回の清掃(落ち葉シーズンの清掃を含む)することを目標値とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「公園・遊び場」に満足している区民の割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50	R7	目標	41.5		44	
				実績	41.5		42.4	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	46		48		50	50
実績	46.7		50.8					
指標の選定理由及び目標値の理由								
区民広場の清掃・除草等を行い、快適な利用環境をつくりだすことが、公園・遊び場に満足している区民の割合を高めることにつながる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公園と同様に都市での貴重な遊び場や憩いの場であり、継続した維持管理が必要である。

課題・問題点
区民広場については、多種多様な目的で使用されることが増えてきており、公園と同様に適切に維持管理していく必要がある。 また、限られた予算の中で愛護活動団体やボランティア活動団体等を更に増やし清掃等を充実させるとともに、維持管理コストの低減も図っていく。